

# 応用物理学会創立80周年 記念シンポジウム

日時：2027年3月16日(火)9:30～17:30 東京・上智大学四谷キャンパス  
(応用物理学会春季学術講演会初日)

応用物理学会は創立以来、基礎的な学理の探究から産業への展開まで、幅広い分野の発展を支え、数多くの研究者・技術者とともに新たな価値を創造してきました。本シンポジウムでは半導体・光・材料・エネルギー・量子・プロセスなど、各分野を牽引してきた第一人者の講演を通して、応用物理の歩みを振り返るとともに、次の10年、20年の近未来社会を応用物理がどのように切り拓いていくのか、その可能性を展望します。



## 開会ご挨拶 (9:30～9:50)

安達千波矢 (応用物理学会 会長)  
生田知子 (文科省 研究振興局)  
中野宏和 (経産省 イノベーション・環境局)

## 基調講演 (9:50～10:10)

波多野睦子 (科学大, CSTI) 100周年に向け応用物理学が拓く科学と社会の共創

## 名誉会員表彰 (10:10～10:20)

## 第1部：応用物理の学術創生の歩み (10:20～12:00, 13:00～15:00)

|                  |                                     |
|------------------|-------------------------------------|
| 宮坂 力 (桐蔭横浜大, 早大) | ハライドペロブスカイト半導体の拓く光電変換研究の新たな挑戦       |
| 伊賀健一 (科学大)       | 面発光レーザーの50年+                        |
| 荒川泰彦 (東大)        | 半導体量子ナノ構造の発展—超格子から量子ドット、そして量子技術の時代へ |
| 大野英男 (NICT, 東北大) | 応物とスピントロニクス                         |
| 堀 勝 (名大)         | 低温プラズマ革命 — 新たな未来社会を拓くプロセスサイエンス      |
| 鳥海 明 (東大)        | 僕が見てきた昨日までのシリコン                     |
| 中村泰信 (東大, 理研)    | 巨視的量子コヒーレンスから超伝導量子コンピュータへ           |
| 細野秀雄 (科学大, NIMS) | 物質の可能性：IGZO半導体、鉄系超伝導、電子化物触媒         |
| 木本恒暢 (京大)        | SiCパワー半導体の台頭と社会的インパクト               |
| 天野 浩 (名大)        | 窒化物半導体国際会議の礎を築いた応用物理学会              |
| 安達千波矢 (九大)       | 有機光エレクトロニクスの新展開—OLEDから先端フォトニクスへ     |

## 第2部：応用物理が拓く新しい社会 (15:20～17:30)

|                      |                                        |
|----------------------|----------------------------------------|
| 宮島秀史 (キオクシア)         | 記憶の進化：AI時代における3Dフラッシュメモリの役割と挑戦         |
| 藤平龍彦 (富士電機)          | パワー半導体・パワーエレクトロニクスが切り拓くGX・カーボンニュートラル社会 |
| 松ヶ谷和冲 (ミライズ テクノロジーズ) | モビリティ社会の未来を支える車載半導体技術                  |
| 松尾慎治 (NTT)           | IOWNが描く未来社会と応用物理の新たなフロンティア             |
| 為近恵美 (横浜国大)          | 応用物理で描く未来ビジョンの取組み                      |
| 筑本知子 (阪大)            | 総括：応用物理学会80周年、その先へ                     |